



やさしい町

～深大寺を目指して～

発刊元：調布市地域包括支援センター はなみずき

やさしい町 ～深大寺を目指して～ とは？

超高齢化時代をむかえ、認知症になる人が増えています。
団塊の世代が75歳以上になる2025年には、高齢者の5人に1人は認知症になると言われており、認知症は誰にとっても「他人事」ではありません。

やさしい町深大寺を目指して は、認知症の人にとって暮らしやすいまち、障害者、高齢者、子ども、すべての人にとって暮らしやすいまち であるという考えのもと、『自分事』として、認知症を当事者目線で考え、将来自分や身近な家族が認知症になった時に安心して暮らしていけるための、人との繋がり、居場所、活動、参加、役割、支援…等を地域住民、関係支援機関が協力して考えつくっていく会です。

今回のコース

START地域包括支援センターはなみずき
⇒GOAL深大寺こもれび

※コース詳細は下記地図の
赤い線を参照



- ・移動距離：約2km
- ・所要時間：約1時間
(途中休憩含む)
- ・参加人数：17名
- ・4.5人のグループで移動。

当日の流れ

集合

『普段何気なく歩いている道を、認知症や身体が不自由な人の気持ちになって歩いてみましょう』



出発

『道に迷った時に目印になるようなものはあるかな?』



『微妙な勾配や傾斜があつて、車いすや足腰が悪い人にとっては歩きづらいかも・・・』



休憩

『歩き慣れた道も、視点を変えて歩くと色々な発見があるものだね』



到着

『まち歩きをしてみて気がついたことをみんなで共有しよう』

